

授業科目名 (英文名)	総合ゼミ (Synthetic Seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	4
担当教員	金 外淑	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	心理の視点から、様々な心理技法を用い、自分(他者)と上手に向き合うスキルを学び、看護における患者への心理的支援につなげる方法を身につける。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>総合ゼミでは、認知行動療法に基づくポジティブ心理学 (positive psychology) におけるレジリエンス (resilience) とその基本的概念を取り入れ、自己理解と人間関係づくり、アンガーコントロール法などを学び、ポジティブ・コミュニケーション能力を高める。</p> <p>講義計画</p> <p>1回 オリエンテーション</p> <p>2～3回 自己評価(他人評価)に基づき、自分の良いところ(強み)と気になるところを見つめ直し、自信を高める方法を学ぶ。</p> <p>4～5回 心理の視点から、自分のタイプを知り、人間関係力を高める。</p> <p>6～7回 怒りを上手に抑えるアンガーマネジメントを学ぶ。</p> <p>8～10回 こころの病気になる仕組みを理解し、ポジティブな心理状態を維持するスキルを学ぶ。</p> <p>11～14回 認知行動療法のケースフォーミュレーション (case formulation approaches in CBT) に基づき、看護領域における心理的援助の基本的なスキルを高める。</p> <p>15回 まとめ</p> <p>16回 評価</p>		
テキスト	授業中に講義資料を配布する。必要に応じ、ビデオ教材を用いる。		
参考文献	授業中に講義内容に関連する参考文献を紹介する。		
成績評価の基準・方法	授業態度・発言、レポート、体験学習による授業への取り組みを含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	心理学に関心がある学生の参加が望ましい。		
実践的教育	該当なし。		
備考			